

大豆管理情報 第2号

1. 培土作業～1回目は遅れずに、2回目は確実に～

- ・培土作業は、大豆の生育状況を確認の上、ほ場が乾いている時に遅れずに開始しましょう!!
- ・作業前に培土板や耕うん爪を必ず点検しましょう。
- ・株元までしっかりと土をかけましょう。

表 1 培土の時期と高さ

	時 期	高 さ
1回目	本葉2～3葉期 (播種後20～25日頃)	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4～5葉期 (播種後30～35日頃)	初生葉が埋まる程度

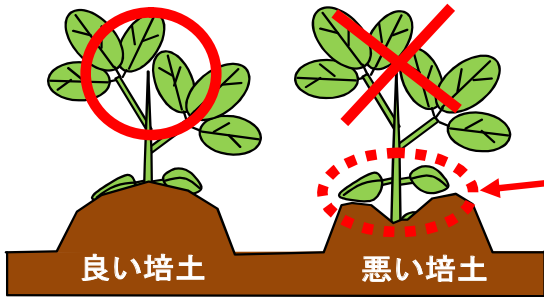


図 培土における株元への土寄せ

◆株元に凹みのある培土は・・・ダメ!
 ・株元に水がたまり、湿害や病害の原因となる。
 ・新根が伸びず、生育不良となる。
 ・株間に発生する雑草を抑制できない。

培土の効果 → ① 排水の促進と湿害防止, ② 根量と根粒菌の増加, ③ 雑草の抑制, ④ 倒伏防止

2. 排水対策

- ・培土後は、その日のうちに培土でできた溝と額縁排水溝と排水口とをしっかりと連結しましょう。
 - ・降雨の後には、排水溝の点検と手直しを行い、雨水を停滞させないようにしましょう。
- ※ほ場内の停滞水は、根腐れ等病害の発生や生育停滞の原因となります！



3. 雑草の防除対策

- ・まずは、しっかり培土することで防除しましょう。
- ・除草剤を使用する場合は、以下の表を参考に、使用上の注意をよく確認し、正しく使用しましょう。

表 1 除草剤散布の目安

	薬剤名	散布時期	対象雑草	10a 当たり散布量	使用回数
選択性	ポルトフロアブル	雑草生育期 (イネ科雑草 3～10 葉期) (収穫 30 日前まで)	イネ科 1 年生雑草 (スズメノカタビラ除く)	200～300mℓ (水 100ℓで希釈)	1 回
	大豆バサグラン液剤 注1)	雑草の生育初期～6葉期 (収穫 45 日前まで)	1 年生雑草 (イネ科を除く)	300～500mℓ (水 100ℓで希釈)	1 回
非選択性 注2)	バスタ液剤	大豆 5 葉期～雑草生育期 (畝間・株間処理) (収穫 28 日前まで)	1 年生雑草	300～500mℓ (水 100～150ℓで希釈)	ゲルホシネット及び ゲルホシネットP 3 回以内

注1:大豆バサグラン液剤は高温時の使用で薬害が出る恐れがあるため、高温が続くと予想される場合は使用を避ける。

注2:非選択性除草剤については、大豆の葉にかからないように散布する。